

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和4年8月号

◇ 行事報告 ◇

7月18日（月）摩利支天月例祭

新型コロナウイルス感染の防止対策をとりながら、本堂で式典を執行させて頂きました。

さて、今回は暦と事象のお話です。

申の月の辰の日は金運アップの日と言われます。「申の月」は立秋～白露の前日まで、今年は8月7日～9月7日、「辰の日」は、8月7日、19日、31日です。この日に大黒天様に500円をお供えすると、良いとされます。



また、九星では、今年五黄の年で、8月は五黄の月です。同じもの（ここでは五黄）が二つ重なるとぶつかり合ってはじけ飛ぶようなイメージになります。殊に五黄は強い星ですので事象が激しくなります。ここでいう8月は先ほどの「申の月」のことです。この期間は、けがや病気をしやすく、いざこざも起こしやすい、また患えば長引くと言われていまして、注意してお過ごしてください。しかしながら、この期間には五黄が3つ重なる日（年、月、日全て五黄）である8月10日、19日、28日、9月6日は、災いが去ると言われる例外の日です。何かをするのであれば、この日にされるのが良いでしょう。

今年の8月19日は、申の月の辰の日で、五黄が3つ重なるという例年になく特別な日となります。また、大難は小難に小難は無難にと過ごせるよう、この日だけでなく、良いとされる日に、計画を立てて、

お参りをされては如何でしょうか。

また、皆様のお手元に年末にお届けしている「最上宝暦」にも暦や事象について記載してありますので、ご覧になってください。

7月は東日本で、8月は西日本でお盆月です。9月はお彼岸と供養月が続きます。



す。香炉やろうそく立て、花瓶をきれいにしてご先祖をお迎えする準備をしましょう。そして、お経・お題目をお唱えして下さい。ご先祖様あってこそ、自分があることに感謝して日々過ごしたいですね。

◇ 行事案内 ◇

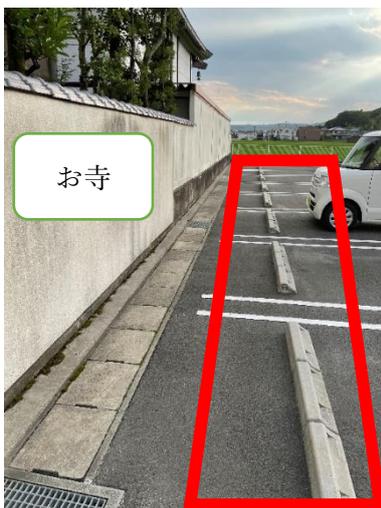
摩利支天月例祭

9月18日(日)・10月18日(火) 午前10時より執行いたします。

只今当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

施餓鬼会

9月20日(火) 午後1時より執り行います。



当日は、お寺の北側に隣接するももレディースクリニック駐車場の一番南側(お寺側)の一列が使用できます。境内の駐車場と合わせてご利用下さい。駐車に際しては、事故等がないよう十分注意してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用での参加をお願いいたします。本堂入り口にアルコール液を用意しますので、ご利用ください。

また、**施餓鬼供養の申し込みがまだの方は早めにお申し込みください。**

なお、塔婆を申込された方で、当日参加出来ない方、新型コロナにより、当日の式典の参加を見合わせられる方は、その旨を予めお寺に連絡頂けると助かります。**翌日9月21日(水)は、終日お寺に居りますので、お越し下さい。**お塔婆をお渡しします。それ以降に来られる方は、ご連絡のうえお越しいただきますようお願いいたします。お布施は受け取りに来られた時をお願いします。

◇ 近況 ◇

今年も8月13・14・15日と本了院霊園で読経の後、本堂にてお盆のお経を唱え、迎え火と送り火を焚き、檀信徒の方々のご先祖様、無縁様をお迎えし、お送りいたしました。

合 掌